

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ

第3期市川市教育振興基本計画

～次のような方針を掲げています～

方針1 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

方針3 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

「Withコロナ時代」の教育活動

市川市こども作品展 オンラインで配信!

「市川市こども作品展」は、市川市文化会館の改修工事のため、コルトンホールで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は「オンライン配信」に変更して開催します。



南新浜小学校の作品例

市立幼稚園・小・中学校・義務教育学校・特別支援学校の子供たちの図画工作・美術（平面・立体）、書写の作品などを紹介しますので、創造力豊かに制作した心温まる作品を是非ご覧ください。どのような作品が掲載されるのか楽しみです。

【指導課】

【こども作品展配信期間】
令和3年12月20日(月)
～ 令和4年1月31日(月)

【配信URL】
12月中旬頃
市川市教育委員会ホームページに掲載



信篤小学校「原木山妙行寺」

各学校で作品作りが進んでいます



家庭教育学級の指導員講座

家庭教育学級とは、子供にかかわり合う大人が学び合う場です。家庭でのよりよい子育てについて考え、親として一緒に成長することを目指します。

市川市には校長経験のある2名の家庭教育指導員がおり、家庭教育学級の「指導員講座」において講師を務めています。各学校の要望に応じて、家庭教育に関する情報提供や相談対応を行います。今回は、行徳小学校において「キャッシュレスで子供の金銭感覚が危ない! 一親子で考えたい『お金の価値』」というテーマで行われた、指導員講座の様子をご紹介します。

当日は、「硬貨の製造費ってどれくらい?」「紙幣に描かれているのは誰?」など、お金に関するクイズから始まりました。「身近なお金について楽しく家庭で話題にすることによって、子供がお金に興味を持つきっかけとなるのでは」という指導員の話に、大きく頷いている方もいらっしゃいました。お小遣いの金額や使い道に関する調査データを見たり、お小遣いをあげることによって育つ子供の力の話を聞いたりしながら、参加した方々自身がお金の価値を改めて考えていた様子。最後は指導員から、キャッシュレス化が加速している時代であってもお金は大切なものであること、自分のお金には限りがあり、だからこそお金の使い方の計画が必要であるというメッセージが伝えられ、講座が締めくくられました。

講座終了後のアンケートでは、「資料を参考に子供とお金のことについて話してみたいと思います。」「お小遣い帳を書いて本当に必要なものだったかを親子で見直す、などの事をして、子供のお金の使い方を長い目で見ていこうと思いました。」などという声が寄せられました。親子でどのようにお金にかかわっていくか、考えるヒントが得られたようです。

市川市公式Webサイトのページには、子育てのヒントとなる動画や講座のお知らせ等が掲載されています。家庭教育指導員の講座も随時受付中です。詳しくは「市川市 家庭教育学級」で検索してください。

【講座の様子】



【学校地域連携推進課】

調べてみよう!作ってみよう! 科学作品審査会

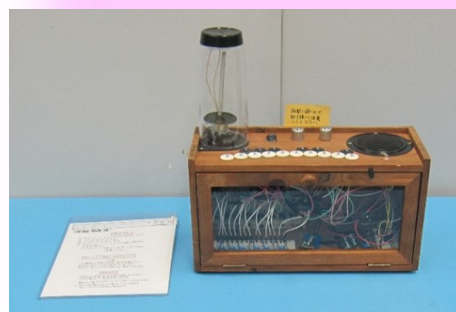
残念ながら2年連続で市内科学作品展は中止となりました。しかし、昨年度と同様に、

子供たちが夏休み期間中に取り組んだ作品を集め、9月10日(金)に千葉県立現代産業科学館にて市川市児童生徒科学作品審査会を行いました。科学論文・標本・科学作品の3部門に合計453点の出品がありました。夏休み期間だけでなく、日頃から取り組んでいる児童生徒も多く、完成度の高さに思わず感嘆するような作品がたくさんありました。

これからも身近な自然や科学に対して高い興味関心を持ち、探究する心に一層磨きをかけ、粘り強く挑戦し続けてくれることを期待しています。

【指導課】

【科学作品部門・優秀作品より】



学校図書館支援センター

市川市では、1950年代より、学校・地域・行政が一体となり、読書教育の推進に取り組んでいます。また、2006年度から教育センター内に学校図書館支援センターを置き、各学校の学校図書館運営の支援を行っています。2007年から発行している「学校図書館支援センター通信」を通して、各園・学校の取り組み等を紹介し、コロナ禍においても、様々な工夫をしながら学校図書館活用を進めている学校を紹介してきました。

「読書郵便」という形で、中学生が小学生に紹介したい本と手紙を送るという取り組みやオンラインを活用した作家講演会など、直接会うことが難しい中でもできることを考え、各学校で取り組んでいます。

学校でどのような読書活動に取り組んでいるのか興味のある方は市川市教育委員会のホームページをご覧ください。

【教育センター】



↑「学校図書館支援センター通信」
はこちらから